

助成財団の皆さまへ

公益財団法人 助成財団センター
理事長 山岡 義典
(検印省略)

『平成26年度 助成財団の集い』開催のご案内

拝啓 新たな年を迎え皆さまますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当センター業務につきましては、日ごろから格別のご高配を賜り誠に有難く厚くお礼申し上げます。

さて、助成財団センター設立30周年(平成27年11月)にあたる本年の「助成財団の集い」は、昨今の社会・経済の環境変化に鑑み、『SR時代の助成財団 ～助成財団としての社会的責任を考える～』(SR: Social Responsibility)と題して別添の内容で開催を予定しております。

2003年の「CSR元年」以降、日本における「企業の社会的責任」に向けた取り組みは大企業を中心に進展し、昨今定着してきたかの観があります。最近では、国際規格ISO26000 (Guidance on social responsibility)も発効され、「持続可能な社会」の実現に向けて、企業のみならず、あらゆる組織が社会との関係のあり方について取り組むべき行動基準が示されています。このように、社会的責任は企業に限定されることなく、政府セクター、民間非営利セクターなど、あらゆる組織が、自らの問題として受けとめ、取り組むことが期待されています。

このことは、民間助成財団においても例外ではありません。公益法人制度改革後、とりわけ公益法人(財団・社団)においてはガバナンスの強化と情報公開が求められますが、これらは法人としての社会的責任を果たしていく際の基本的な一部に過ぎず、今後は、助成財団としての社会的責任(FSR: Foundation Social Responsibility [仮称])を組織運営面のみならず、助成事業の面でも果たしていくことが重要な課題として、すべての助成財団に問われることになるでしょう。政府でも企業でもない民間非営利組織の一つとしての助成財団が、〈助成〉という行為を通して持続可能な社会の実現に向け、いかに積極的に寄与することが可能か。そのためには、出捐者との連携や距離感、多様なステークホルダーとの関係構築にもとづき、それぞれの組織や事業をいかに革新的なものにしていくか、という視点が大事になると考えます。

そこで今回は、「SR時代の助成財団」をテーマに、社会的責任の遂行が世界的に求められる状況の中、助成財団としての社会的意義や価値をどのように捉え、組織として、事業としてのこれからのあり方を考える契機にしたいと思えます。

以上のような背景から、第Ⅰ部の基調講演1では「SRの現状と動向—助成財団として考えること—」、基調講演2では「日本における助成財団の役割と期待 ～研究者倫理の視点から～」をテーマとし、それぞれに造詣の深いお2人の講師にお話しいただきます。

また第Ⅱ部では、基調講演を受けて4名のパネリストにご登壇いただき「より価値の高い助成事業の創出に向けて ～“FSR”の視点から～」と題し、今後目指すべき助成財団・助成事業の可能性・方向性等について、具体的事例として各財団のこれまでの財団運営やプログラム開発状況にも触れていただき、皆さまとの意見交換を行いたいと存じます。

続く情報提供としては、新制度へ移行したわが国の助成財団の概要についての中間報告、公益認定等委員会の会計研究会の動向(収支相償等)について触れさせていただく予定です。

なお、セミナー終了後の情報交換・懇親会につきましては、助成財団間の更なるネットワーキングの推進をめざし、活発な情報交換の場として大いにご活用いただければ幸いです。

助成財団の運営および実務に携わられている皆さまをはじめ、多くの方々のご参加を賜りますようご案内申し上げます。

敬具

「平成26年度 助成財団の集い」プログラム

『SR時代の助成財団 (SR: Social Responsibility)

～助成財団としての社会的責任を考える～』

1. 日 時: 2月13日(金) 13時00分～16時45分 (受付開始は12時30分から)
— 終了後、18時30分頃まで情報交換・懇親会を予定 —
2. 場 所: 渋谷シダックスホール 7階 Eホール (情報交換・懇親会は同ビル2階Aホール)
東京都渋谷区神南1-12-10 渋谷シダックス ビレッジ Tel 03-5784-8830

3. プログラム (開場 12:30)

13:00 開会挨拶 山岡 義典 (公益財団法人 助成財団センター 理事長)

【第一部 講演会】

13:10 基調講演1 「SRの現状と動向 — 助成財団として考えること — 」

関 正雄 氏 (損害保険ジャパン日本興亜株式会社 CSR部 上席顧問
／ 明治大学経営学部 特任准教授)

13:55 基調講演2 「日本における助成財団の役割と期待 ～研究者倫理の視点から～」

黒木 登志夫 氏 (独立行政法人 日本学術振興会 学術システム研究センター
相談役 / 東京大学名誉教授)

14:40 — <休憩> —

【第二部 パネルディスカッション】

15:00 「より価値の高い助成事業の創出に向けて ～“FSR”の視点から～」

◇パネリスト◇

今西 淳子 氏 公益財団法人 渥美国際交流財団 常務理事

嶋田 実名子 氏 (前)公益財団法人 花王芸術・科学財団 常務理事(兼)事務局長

菱沼 宇春 氏 公益財団法人 内藤記念科学振興財団 事務局長

安田 定美 氏 公益財団法人 三菱商事復興支援財団 事務局長

コーディネーター 渡辺 元 公益財団法人 助成財団センター プログラム・ディレクター

【情報提供】

16:20 ① 新制度移行後の日本の助成財団に関する実態調査報告

② 公益認定等委員会「会計研究会」に関する中間報告 (予定)

16:45 — 閉会 —

【情報交換・懇親会 (於・シダックスホール 2F Aホール)】

17:00 ～

18:30 — 終了予定 —

4. 会 費 (情報交換・懇親会への参加費を含む) 会員1名につき 8,000円
非会員1名につき 12,000円

なお、上記1～4の内容は諸般の事情により変更することもありますので予めご了承の程お願申し上げます。

申 込: 別添の出欠連絡票に記載の上、2月6日(金)までにファックスで
お申し込み下さい。

会 費: 2月6日(金)までに、下記口座にお振り込み願います。

*三井住友銀行 新宿西口支店 普通預金: 5541320

*三菱東京UFJ銀行 新宿支店 普通預金: 0478691

口座名: 公益財団法人 助成財団センター

(ご注意) 2月6日までのキャンセルの場合は振込手数料を除いた入金金額を払い戻しいたしますが、
2月7日以降は払い戻しがありませんので予めご了承ください。